

## レースにあたっての審判上の諸注意

令和4年度北信越高等学校体育大会ボート競技大会 第49回北信越高等学校ボート選手権大会  
(2022/6/18-19 下諏訪ローイングパーク)

今大会は、(公社)日本ボート協会競漕規則(2022/4版)及び大会要項に基づいてレースを運営しますが、以下の事項に注意してレースに臨んで下さい。

### 1. 健康について

各クルーは健康管理に十分注意を払い、万全の状態状態でレースに参加できるよう心がけて下さい。また今大会はコロナ感染を防止すべく、さまざまな対策をとるよう指示されていますので、それを遵守するようにして下さい。体調不良等の場合は、最寄りの審判員もしくは役員に申し出て下さい。

### 2. 事故防止と安全確保について

- (1) 各クルーおよび参加者は事故のないよう常に安全確保に努め、安全第一で行動して下さい。安全については、各クルーがまず自主的に対策を十分に施して下さい。
- (2) 出艇時にはコースを横切ることになるので、レースの状況を注視するなど、安全に十分に注意して下さい。100m～200mをコースに直角に横断して下さい。0m～100mはスタートの呼び込みと交錯する可能性があるため横断しないようにして下さい。特に発艇2分前から発艇位置に設置されたパトライトが点灯するので、その間はコースを横切らないで下さい。これに違反するとイエローカードを与えます。
- (3) レース前の練習については、練習水域では航行ルールを守り、周囲の安全を確認の上注意して行って下さい。決められた水域以外(消波堤の外等)には行かないこと。レース時の航行ルールでは練習水域は900m地点の白ブイで折り返すこととし、1000mのゴール判定に影響が出ないように950mの境界ブイを越えないように注意して下さい。練習水域の黄色ブイで折り返すことも可能ですが他のクルーと接触事故のないように注意して折り返すようにして下さい。また、気象の変化や風・波等に注意し、大会本部・役員から指示があればこれに従って下さい。これに違反するとイエローカードを与えます。
- (4) 練習水域での回漕中、コース岸側を帰艇中、レース艇が来たときは、必ず100m手前で止まり、レース艇が通過するのを待って下さい。これに違反するとイエローカードを与えます。
- (5) レース中、クルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合、もしくはそれが予想された場合、レースを中止することがあります。クルーの安全を第一に考えたレース運営を行うことを理解しておいて下さい。

### 3. 各種手続き(届け出)について

- (1) 棄権・メンバー変更(補漕からの変更)・ブレード変更の手続き(届け出)は、競漕委員会へ定められた時間までに所定の手順に沿って行ってください。
- (2) シート変更(漕手間の変更)については事前に届け出る必要はありません。

### 4. 艇計量・監視について

艇計量は行いません。

監視は舵手計量のみ行います。ブレードカラーやユニフォーム、棧橋での監視は行いません。

## 5. 舵手（コックス）計量について

- (1) 監視は舵手計量のみ所定の場所（AQUA未来Aシャッター前）で行います。
- (2) コックスの体重は、ユニフォームのみ（アンダーシャツ・レギンス等を除く）とし、男子55kg以上、女子50kg以上とします。これに満たない者は、最大15kgのデッドウェイトを舵手の最も近いところに置いて下さい。
- (3) 計量は、レース日ごとに、最初に出漕するレースの2時間前から1時間前までに所定の場所で受けて下さい。
- (4) 規定の時間内に舵手計量を受けなかったクルーは **レッドカードを与え除外 失格** とします。1日目を含む毎日の舵手計量は、規定の時間を過ぎることは認められず出漕できなくなりますから、時間を厳守して下さい。尚、この件に関する呼び出し放送は行いませんので、各クルーとも十分に注意しておいて下さい。
- (5) 計量所での飲食は禁止とします。また、予備計量（本計量器による測定）は、1回に限り認めるので、その際は申し出て下さい。
- (6) デッドウェイトはその日の自己の最終レース終了後、速やかに返却して下さい。

## 6. ユニフォームの統一について

- (1) 各クルーとも統一したユニフォームを着用し、不ぞろいな服装をして出漕してはいけません。アンダーシャツ・タイツ・靴下等も統一してください。統一されたユニフォーム・同じ服装とは、「外見がまったく同じもの」ということですから、とくに色褪せ、迷彩模様・幾何学模様等の服装は注意して下さい。
- (2) 舵手はクルー内で統一したユニフォームに加えて漕手が着用していない衣服を着用してもよい。但し、気温が低い時の防寒が目的であるため誤解のないようにして下さい。
- (3) 帽子・はちまきについてはクルー内で着用する者としなくても可とします。但し、着用する場合は漕手・舵手とも同じものを着用しなければなりません。

## 7. コースへの進入について

コースへの進入について、前のレースがスタートし100mを通過すると、発艇員は次レースのクルーをコースへ呼び込みます。その呼び込みを受けてから、指示されたレーンに速やかに進入して下さい。前のレースがスタートしたら、速やかにコースに侵入できる位置で待機しておいて下さい。

## 8. 発艇定刻の厳守と発艇について

- (1) 出漕クルーは発艇定刻2分前までに所定の発艇位置（ステイクポート）に着かなければなりません。特段の事情がない限りこれに遅れた場合はイエローカードとなります。艇の故障等で発艇定刻に間に合わない場合、必ず最寄りの審判員に申し出て指示を受けて下さい。許可なく遅れ、レースに参加できなかったクルーはDNSとなり、以後の全ラウンドに出漕することができません。
- (2) 発艇は、発艇定刻の5分前から発艇員による分読みが始まります。分読みの号令は「five minutes(ファイブミニッツ)」、「four minutes(フォーミニッツ)」、「three minutes(スリーミニッツ)」、「two minutes(ツーミニッツ)」の順に行われます。発艇定刻2分前になったら、いつでも発艇できるように準備し、各クルーの責任で進行方向を定めておいて下さい。風波等の状況によりクイックスタートで発艇する場合があります。
- (3) 「two minutes(ツーミニッツ)」の号令後、既にイエローカードを与えられているクルーには、その旨が通告されます。この通告に対して異議の申し立てがある場合、クルーは直ちに発艇員又は主審に対してその旨を伝えて下さい。この場合、発艇員又は主審は、その申し立て内容を判断し、口頭で該当クルーへ決定内容を伝えるものとします。

## 9. レース中の注意について

- (1) スタート直後を含め、レース中に艇の故障及びオールの破損等が生じた場合でも特別な措置（再レースなどの救済措置）はありません。故障や不具合が生じないように十分に点検しておいて下さい。
- (2) すべてのクルーは、自己のレーンを進行し他のレーンを侵害、もしくは他艇を妨害してはなりません。レース中、主審は障害物の出現や、他レーンに侵入して他艇と接触・衝突等の棄権が切迫しているクルーに対し、レース状況によっては白旗を掲げ、「○○とまれ！」等のコールをし、当該クルーのみ競漕を一時中止させることがあります。この場合、主審の指示に従い、危険を回避した後、再び競漕に復帰して下さい。
- (3) 主審艇がレース状況により、極端に遅れたクルーを追い越すことがあります。この場合、追い越されたクルーは波をかぶることもありますが、異議の申し立ては受け付けませんので容赦して下さい。

## 10. レース中の転覆・選手の落水について

- (1) いかなるクルーも定員を欠いてレースに参加することはできません。レース中、故意によらず漕手が水中に落ち、その漕手を欠いたままフィニッシュラインに到達した場合、当該クルーは漕了したものと見なし、着順を付与しません。コックスを欠いてフィニッシュラインに到達したクルーは、失格となります。
- (2) シングルスカル以外でも、漕手が水中に落ちた後、自力で乗艇しフィニッシュラインに到達した場合は着順を認めます。但し、他者の支援を受け、もしくは岸等を利用して乗艇した場合は着順を認めません。
- (3) 万一の落水時、ストレッチャーから足が抜けず、危険な状況も想定されます。靴がストレッチャーからすぐに脱却するもの以外は、ヒールロープ（適切な長さにしておくこと）を結んでおくこと、靴紐を締めすぎないことに注意して下さい。

## 11. 指導・警告・除外とその取扱いについて

- (1) クルーが違反・不正行為等を行った場合、指導や警告（注意・イエローカード・レッドカード）を与えます。同一ラウンド内（レース前の回漕および練習を含む）でイエローカードを2回与えられるとレッドカードとなり、レッドカードを与えられると除外となります。イエローカード・レッドカードが与えられるときは、審判より該当色のカードが提示されます。
- (2) 大会期間中の航行ルールを守らなかった場合（やむを得ない状況を除く）、指導や警告を与えます。また、あらかじめ定められていない事柄でも、審判が対象と判断した場合、イエローカードやレッドカードを与えることがあります。
- (3) 与えられたイエローカードはレース成立で効力を失いますが、その後の回漕中にイエローカードを与えられた場合、次レースがあるときには、そのイエローカードは持ち越すものとします。
- (4) 予選において、スタート前やスタート直後およびレース中にレッドカードを与えられ除外となったクルーは、敗者復活戦への出場を認めます。この場合、他のクルーとの公平を期すため、予選レースで全距離を漕了させます。尚、この際に真面目な態度及び正常な競漕速度で漕了しない場合、接触・妨害を起こした場合は失格とします。

## 12. レース終了後について

- (1) フィニッシュラインを通過したクルーは、全クルーがフィニッシュラインを通過したのちに主審が旗を掲げるまで、付近で待機しておいて下さい。尚、主審はフィニッシュライン手前の位置にあっても旗を掲げる場合がありますから、注視しておいて下さい。
- (2) レースに対する異議がある場合は、主審が旗を掲げる前に手を挙げて主審に申し出て下さい。主審から白旗が揚

がった場合は、レース成立を意味するのでそのまま棧橋に戻って下さい。しかし、赤旗が揚がった場合は、レースに何かしらの問題があったことを示しますから、その場にとどまって主審の指示を待つようにして下さい。

- (3) 主審の決定に対して不服があるクルーは、当該決定の告知後1時間以内に、その所属団体の代表者もしくは代理人を通じるなどで、審判の資格を有する者3名（当該決定を下した審判以外の者）で構成される不服審査委員会に対し、不服を申し立てることができます。

### 13. その他

無線通信機器（携帯電話・トランシーバー等の外部と通信できるもの）の艇内への持ち込みは厳禁です。岸からの拡声器又は無線通信で指示を与えることは禁止とし、失格となりますので注意して下さい。